

年月日	21	11	16	ページ	13	NO.	
-----	----	----	----	-----	----	-----	--

倉庫管理連携組み込み

受発注クラウド オザックス、新サービス

オザックス（東京都千代田区、尾崎豊弘社長）は、倉庫管理サービスや基幹システムと連携できる受発注クラウドサービス「MP S

み込んだサービスを開発したこと、システム連携にかかっていた費用や時間を削減できる。

実績などが自動連携できる。API（応用プログラムインターフェース）により、多くの基幹システムとのデータ連携も可能。

「MP S」を発売した。従来、オザックスの受発注、倉庫管理システム間の連携は顧客の要望に応じて個別対応してきた。連携機能を組

月額は約10万円からを想定。倉庫管理クラウドとの連携は30日、基幹システムとの連携は2022年春からを予定する。倉庫への出荷指示、

基幹システムで作成した注文情報をMP Sで受信すること、受発注システムへの情報入力が必要になる。